

ギターサークル弦

横尾 俊佑（代表）

早いもので、今年サークル結成10年を迎えることができました。結成当時は10人でスタートし、少しずつメンバーも増え、多い時は20名を数える時もありましたが、この数年10名位で落ち着いています。

10年の間、3団体による合同発表会「オアシスの会」を毎年、狭山・飯能で行っています。また日本ギター合奏連盟に入会、狭山市文化団体連合会にも入会し、演奏活動の場を大きく広げることができました。

合奏連盟では30団体参加の「日本ギター合奏フェスティバル」が練馬文化センターで催され、5年続けて出演しています。文団連では「市民芸術祭」に参加し、他の楽器との演奏ではいろいろ勉強させていただきました。「青少年文化体験フェスタ」にも参加、ギターを初めて持つ体験の中から、やさしい曲を1曲ひけるまで努力する子供達と出会うこともできました。また教えることのむずかしさを知らされました。これからもできるだけ参加したいと思っています。

ギターサークル弦は、中南米音楽、中東音楽、スペイン音楽等さまざまな国々の良い音楽を紹介して、多くの方に楽しんでいただけるよう頑張ります。貴方も一緒に楽しみませんか。初心者もOK。お待ちしております。

・練習日：毎週金曜日 19:00 ~ 22:00 場所：堀兼公民館 : 04-2953-4768 (横尾)



お詫びと訂正記事

当会報7月号掲載の寄稿記事「狭山の玉露 - 伊利麻路 -」にはいくつかの誤りがありました。正確な史実を改めて掲載いたしますと同時に、文章に登場した各氏には多大な御迷惑をおかけいたしました。紙面を借りて深くお詫び申し上げます。

狭山の玉露 - 伊利麻路 - -- 豆知識シリーズ (その16) 訂正版 --

平成元年、国民文化祭の開催地として埼玉県が選ばれ、当狭山市は茶会を担当した。稲荷山公園で行われた茶会は、大成功に終わり、それがきっかけで、翌年から改めて狭山市主催「さやま大茶会」としてのスタートをきった。その記念すべき第一回(平成2年)に、狭山の抹茶「明松」は誕生した。

その流れを受けて、玉露も開発してほしいとの煎茶道の先生方からの御希望が有り、第二回(平成3年)の時には、玉露「伊利麻路」が誕生した。この名前は、当時の狭山市長 大野松茂氏によって命名された。由来は、万葉の歌に登場する「伊利麻治(入間地方の事)」であるが、その翻訳本では「伊利麻道」としてのりされており、現代人にもより判り易い様にと、漢字を「道」から「路」に替えられたと伺っている。

この万葉の歌に関して詳しくは、市役所裏にあるゆずり葉の木の下の碑(ロータリークラブ寄贈)に、歌と詳しい解説が刻まれているので、参照されたい。大野氏があえて使われた「伊利麻路」の表現には、万葉の昔から脈々と受け継がれてきた、古人の豊かな詩心が感じられ、狭山茶玉露の馥郁とした味を一層引き立てている。

(文責：副会長 横山 美衣)

NPO

全国子育て福祉支援ふれあいネットワーク埼玉支部

子育てと福祉を支援します

狭山市富士見1-14-11北野第2ビル : 2956-4477

(有)パラビジョン

オーディオ、ビデオのエキスパート

狭山市入間川1127 : 2959-1216